

2026年度

事業計画書

事業所・委員会名

特養

策定者

副施設長

榎原 翔

1. 2030年度ビジョン

法人共通	モラル・教養・技術を兼ね備えた職業人集団（プロフェッショナル）となり、地域から最も信頼される福祉ブランドを確立する
事業所	事業所の職員一人ひとりが「言葉」「態度」「行動」に責任を持つ集団として、 家族を含む全ての方と関係を作り 、入居者さまがしおかげに「来てよかったと思える生活」を実現する。

作成上の注意) 聞いた人が中身をイメージできること、これをユニットや職種やクラスなどチーム単位に分解する想定。

2. 前年度の振り返り

強み・得意／弱み・問題	多職種共同で本人の望むこと・暮らしを支えること/我がごと意識の低さ、 ICT機器を扱う担い手不足
機会・ニーズ／脅威・競合	介護テクノロジーを活用し人材確保戦略(ノーリフティングケアの導入)/ 自らではどうにもできないことへの業務改善・負担軽減

作成上の注意) 聞いた人が中身をイメージできること、1行にまとめてもOK

3. 当年度の戦略目標

戦略の柱	現状 (ビジョンに対する課題・問題点)	成果目標 (事業所の定量目標)	行動項目 (項目4に分解する)
(1) 組織風土変革 ・規則等理解、ABCDの状況 ・関係の質の状況 ・言葉づかい、服装、マナーの状況 ・職員同士の協体制の状況	・法人・事業所内ルールの遵守 ・職員・入居者への挨拶、丁寧な言葉遣い ・職員・入居者の方の呼び方 ・ユニット内・居室内の立ち入り時のルール ・家族への対応・連絡体制	・入居者・職員に挨拶の徹底 ・名前を呼ぶときは～さんを徹底 ・ユニットや居室に立ち入る際はノックを徹底 ・月に1回は家族に会い近況を報告もしくは電話で連絡を行う。	・ユニット会議・フロア会議で5S活動の状況確認 ・出勤時に各フロアの入居者・職員に挨拶を徹底 ・新人職員OJT/法令順守研修の実施 ・ チーフ/リーダーの行動管理
(2) 人材育成 ・職員の資格保有の状況 ・職員の常識・業務知識・技術の状況 ・現場のOJT体制の状況 ・職員のモチベーションの状況	・事業所内OJT体制、各フロアの指導体制の統一化。 ・チーフ・リーダーの役割・責任	・事業所内OJTシステム確立、 ・チーフ・ユニットリーダーの責務・役割明確化 ・チーフ候補/ユニットリーダー候補職員確立 ・フロアチーフ主体としたチーム編成	・新人教育OJTを標準化する(年度末までに) ・ユニットリーダー研修に参加(4名) ・喀痰吸引指導者研修(1名)
(3) サービス品質向上 ・サービス提供時間の状況 ・業務効率化、標準化の状況 ・利用者やご家族の満足度の状況 ・苦情や事故、その対応の状況	・入居者・職員にとって負担が大きいケアを行っている。介助中の事故が多発している。 ・記録業務の効率化・コスト削減・直接的処遇の確保ができていない。 ・多職種が共同でユニットケアに取り組んでいない	・スカイリフト等を活用したノーリフティングケアを導入。 ・インカム・音声入力システム導入。 ・多職種配置によるフロア体制の導入	・ノーリフトケア推進委員会を開催(月1回) ・スカイリフトを活用したケアプランの位置づけ ・ノーリフトケア研修に参加(2名) ・生産性向上委員会の開催(月1回) ・多職種参加型フロア会議を開催(月1回)
(4) 経営基盤強化 ・事業収支の状況 ・稼働率の状況 ・施設・設備の状況 ・事業所固有のリスクの状況	・入所申し込み者減少に伴う入所稼働率不安定、短期入所希望者減少 ・居室内における転倒・転落事故が多い。	・目標稼働率97.5%・早期入居者数20名確保 ・新入居待期間1週間以内 ・ショートステイ専用床100%稼働 ・月1回居宅介護支援事業所営業活動 ・居室内の事故件数昨年対比:50%以内	・月1回、協力医療機関向けの入所案内及び広報活動・月1回居宅介護支援事業所営業 入所検討会議の開催(3/6/9/12月) ・見守りカメラの整備、事故発生時における指針整備。 ・リスクマネジメント委員会での事故の検証及び対策。 ・巡視ルール・見守り支援機器の点検及び手技統一
(5) 地域支援強化 ・法人地域支援活動への参加の状況 ・地域住民からの認知度の状況 ・拠点独自の支援活動の状況	・事業所発信の活動がない ・地域活動への参加職員が固定化 ・地域と共同で活動することが少ない	・月1回以上のサロン等の活動に参加 ・月1回地域住民との交流 ・地域清掃活動に参加	・地域住民参加型避難訓練の実施 1回/年 ・地域住民を招いた健康講座 1回/年 ・地域清掃(カーブミラー・溝掃除) 2回/年

作成上の注意) 文章にしない、箇条書きにする、数値化する、主語(何、誰など)を明確にする

事業所内標語

スローガン	ノーリフト宣言! ~持ち上げない・抱いあげない・引きずらない~
-------	---------------------------------

事業所の職員全員で取り組むものを、わかりやすいことばで表せるならグッドです!

4. 年間行動スケジュール

	戦略行動項目 (前掲項目3との関係をカッコ記載)	定例業務	法定研修・訓練 (参加者、人数、立合有無等をカッコ記載)
4月	5S状況の確認(ユニット/フロア会議)(1) 出勤時の挨拶のルール徹底(1) 全職種配置によるフロア制の導入(2) 本入所事前申し込み者面談/居宅・病院広報(4) 多職種参加型のフロア会議開始(3)	・ユニット会議/フロア会議/相・栄・看会議 ・ノーリフティングケア推進/介護技術向上/ 身体拘束等適正/リスクマネジメント/生産性向上委員会	救命救急講習/AED講習含む(内・全)
5月	スカイリフトをケアプランに位置づけ(3) 生産性向上委員会内においてインカム/音声記録システム検討(3) 本入所事前申し込み者面談/居宅・病院広報(4) スカイリフト導入開始(3)	・ユニット会議/フロア会議/相・栄・看会議 ・ノーリフティングケア推進/介護技術向上/ 身体拘束等適正/リスクマネジメント/生産性向上委員会	リスクマネジメント研修(内・全)
6月	ノーリフトケア研修参加(外1名) ユニットリーダー研修(前期2名) 事故発生件数集計/検証/見守り支援機器点検(4) 本入所事前申し込み者面談/居宅・病院広報(4) 入所検討会議(4)	・ユニット会議/フロア会議/相・栄・看会議 ・ノーリフティングケア推進/介護技術向上/ 身体拘束等適正/リスクマネジメント/生産性向上委員会	感染症BCP研修・訓練(内・全員)
7月	本入所事前申し込み者面談/居宅・病院広報(4)	・ユニット会議/フロア会議/相・栄・看会議 ・ノーリフティングケア推進/介護技術向上/ 身体拘束等適正/リスクマネジメント/生産性向上委員会	認知症ケア研修(内・全員)
8月	本入所事前申し込み者面談/居宅・病院広報(4) 個人情報同意書改定(4)	・ユニット会議/フロア会議/相・栄・看会議 ・ノーリフティングケア推進/介護技術向上/ 身体拘束等適正/リスクマネジメント/生産性向上委員会	身体拘束/高齢者虐待研修(内・全員)
9月	リスクマネジメント委員会にて事故に関する指針の整備(4) 避難訓練(地域住民参加)(5) 事故発生件数集計/検証/夜間帯におけるマニュアルの見直し(4) 本入所事前申し込み者面談/居宅・病院広報(4) 見守りカメラ整備完了(4)入所検討会議(4)	・ユニット会議/フロア会議/相・栄・看会議 ・ノーリフティングケア推進/介護技術向上/ 身体拘束等適正/リスクマネジメント/生産性向上委員会	看取り研修(内・全員) 褥瘡研修(内・全員)
10月	生産性向上委員会においてマニュアルを策定(3) 新人OJT研修内容案作成期限(2) 本入所事前申し込み者面談/居宅・病院広報(4)	・ユニット会議/フロア会議/相・栄・看会議 ・ノーリフティングケア推進/介護技術向上/ 身体拘束等適正/リスクマネジメント/生産性向上委員会	感染症BCP研修・訓練(内・全員)
11月	本入所事前申し込み者面談/居宅・病院広報(4)	・ユニット会議/フロア会議/相・栄・看会議 ・ノーリフティングケア推進/介護技術向上/ 身体拘束等適正/リスクマネジメント/生産性向上委員会	リスクマネジメント研修(内・全)
12月	ノーリフトケア研修参加(外1名) ユニットリーダー研修(後期2名) 事故発生件数集計/検証/見守り支援機器点検(4) 地域交流・地域清掃(カープミラー清掃/餅つき)(5) 本入所事前申し込み者面談/居宅・病院広報(4) 入所検討会議(4)	・ユニット会議/フロア会議/相・栄・看会議 ・ノーリフティングケア推進/介護技術向上/ 身体拘束等適正/リスクマネジメント/生産性向上委員会	認知症ケア研修(内・全員)
1月	本入所事前申し込み者面談/居宅・病院広報(4)	・ユニット会議/フロア会議/相・栄・看会議 ・ノーリフティングケア推進/介護技術向上/ 身体拘束等適正/リスクマネジメント/生産性向上委員会	法令順守/ハラスメント研修(内・全員)
2月	喀痰吸引研修指導者研修(外) 本入所事前申し込み者面談/居宅・病院広報(4) 地域交流(健康講座)(5)	・ユニット会議/フロア会議/相・栄・看会議 ・ノーリフティングケア推進/介護技術向上/ 身体拘束等適正/リスクマネジメント/生産性向上委員会	身体拘束/高齢者虐待研修(内・全員)
3月	本入所事前申し込み者面談/居宅・病院広報 事故発生件数集計/検証(4) 新人OJT研修内容システム化完了(2) 入所検討会議(4)	・ユニット会議/フロア会議/相・栄・看会議 ・ノーリフティングケア推進/介護技術向上/ 身体拘束等適正/リスクマネジメント/生産性向上委員会	看取り研修(内・全員) 褥瘡研修(内・全員)

作成上の注意) 文章にしない、箇条書きにする、数値化する、主語(何、誰など)を明確にする

5. 当年度の収支計数・前提条件

収支計数		前提条件	
目標事業活動収入	638,776千円	施設定員	120人
目標稼働率	97.50%	平均利用者数（年間営業日数平均）	117人
事業活動支予算額	524,889千円	単位／1利用者あたり収入	14,729円
目標事業活動資金収支差額	113,886千円		
稼働率：入所・デイ・保育：期間中延べ利用者数÷（営業日数×1日の利用定員） 訪問：期間中サービス提供時間数÷期間中勤務延べ時間数 単位：1営業日あたりの数値		重点加算（＝事業所サービスの特徴）	看護体制・夜勤職員体制・機能訓練・口腔衛生 ・褥瘡マネジメント・感染症対策向上・看取り 体制科学的介護推進体制・協力医療機関・
		自事業所の戦略人材とは？	挨拶/前向きな考え方/捉え方ができる人材